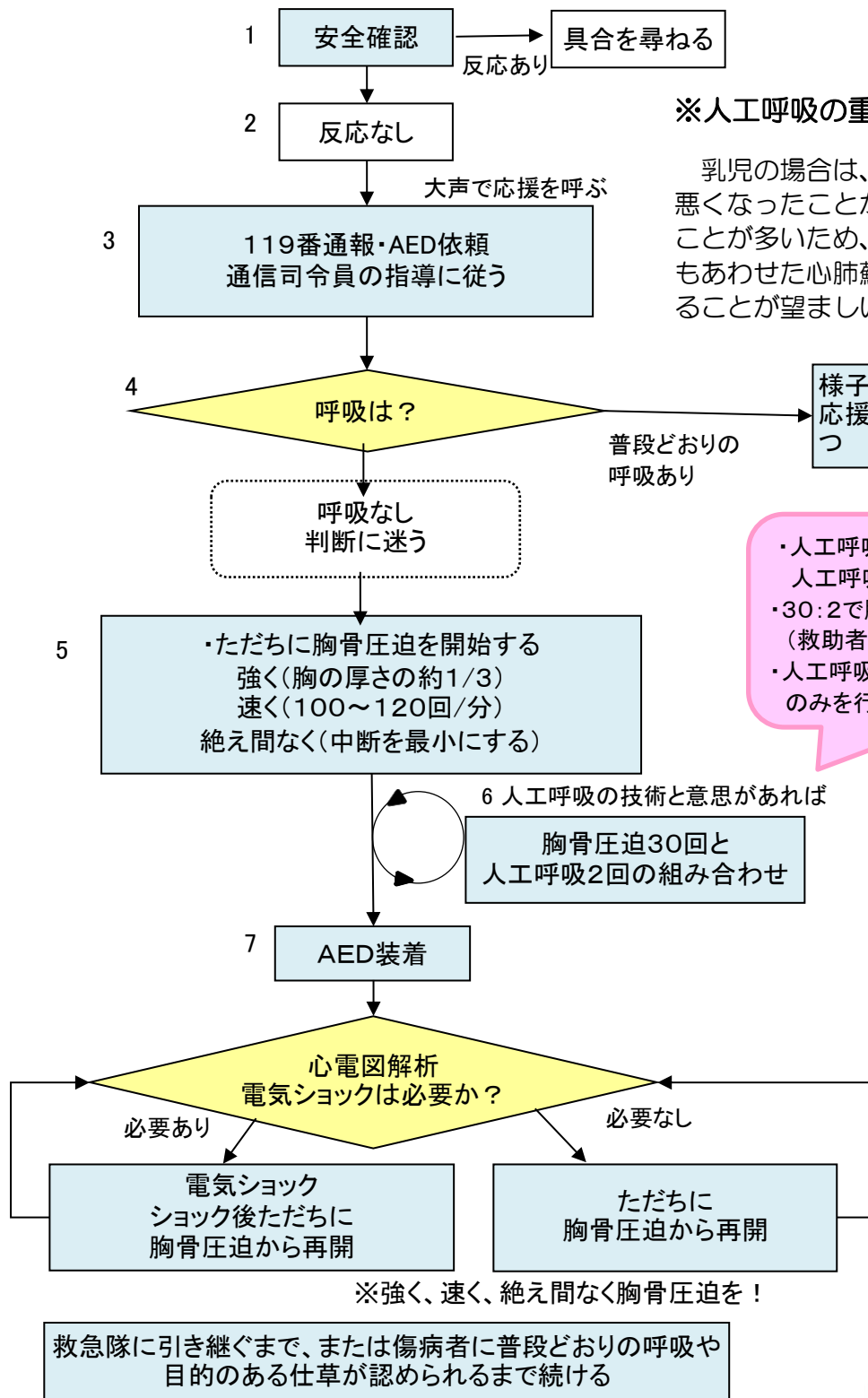


しんぱいそせいほう 子供の心肺蘇生法の手順（図）



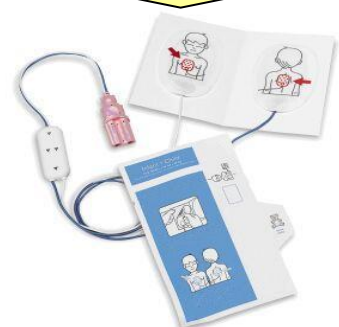
※人工呼吸の重要性

乳児の場合は、成人に比べて呼吸が悪くなったことが原因で心停止に至ることが多いため、胸骨圧迫に人工呼吸もあわせた心肺蘇生ができるようになることが望ましいと考えられます

- ・人工呼吸の準備ができしだい、2回の人工呼吸を行う
- ・30：2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える（救助者が2人の場合15：2）
- ・人工呼吸ができない状況では胸骨圧迫のみを行う



未就学児用パッド



AED（自動体外式除細動器）とは、心臓の突然の停止（心室細動）の際に電気ショックを与え（電氣的除細動）、心臓の働きを戻すことを試みる機械です。使い方は、電源を入れ、電極パッドを胸に貼り付けると心電図を解析して電気ショックを与えるべきかを調べます。電気ショックが必要と解析した場合には、機械の指示に従ってスイッチを押すと電気ショックを与えることができます。